

[014] 九州大学東洋史論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/24587>

出版情報：九州大学東洋史論集. 14, 1985-12-25. 九州大学文学部東洋史研究会
バージョン：
権利関係：

編集後記

『九州大学東洋史論集』第一四号をお届けいたしました。諸般の事情から編集が遅れましたが、何とか年内発行に漕ぎつけました。

本号から執筆陣に加わりました岸・則松・滝野の院生三氏（ともに博士課程）の論考は各人の専攻分野で斬新な発想を持ち込み、明清史の多彩な局面を浮きぼりにするものです。本号はこれら新進気鋭を含めて計七篇の論考が集まり、本誌としてはえらく分厚く重量感溢れるものとなりました。もちろん厚ければよいというものではありませんが、まずは研究意欲の盛んな結果と、秘かに自負いたしております。今後、よりいっそう質の充実はかっけていきたいと思えます。忌憚なき御意見をお寄せいただければ幸いです。

（城井）

九州大学東洋史論集

第十四号

昭和六十年十二月二十日印刷
昭和六十年十二月二十五日発行

編集兼 九州大学文学部

発行者 東洋史研究会

福岡市東区箱崎

六一一九一一

代表者 越 智 重 明

印刷所 瞬報社写真印刷(株)

福岡市中央区大神五

丁目四一十六

電話(〇九二)七三三六四一